サポート情報記事

Smart Tiles: ソリューションの概要

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

Smart Tiles が動作する場所 4

タイルで設定できる内容 5

パネル全体の外観を決める設定 6

ページ上での編集 7

訪問者 8

ライセンス 8

用語 10

はじめに

どのイントラネット　ページにも、他のどのリンクよりも頻繁に開かれる宛先がいくつかあります。たとえば、人事ポータル、勤務時間管理システム、チームのドキュメント　ライブラリ、ヘルプ　デスクなどです。Smart　Tiles　は、こうした宛先を、アイコン付きの大きくカラフルなタイルのパネルに変えます。訪問者は一目で認識でき、1 回のクリックでアクセスできます。

Smart Tiles は、**SharePoint Online** のモダン ページ向けの **SharePoint** Framework Web パーツです。ページの作成者はこの Web パーツをページに追加し、編集モードでページ上に直接タイルを作成して、発行します。リストや構成ファイルは不要です。この記事では、この Web パーツを紹介します。動作する場所、タイルで設定できる内容、パネル全体の外観を決める設定について説明します。



SharePoint Online ページ上の Smart Tiles ナビゲーション パネル

Smart Tiles が動作する場所

Smart Tiles は、アプリ カタログから 1 つのパッケージとして **Microsoft 365** テナントに展開されます。展開後は、追加のアクティブ化なしで、テナントのすべてのサイトで Web パーツを使用できます。次の場所に配置できます。

- 任意のモダン ページ (**サイト ページ**、**ニュース投稿**、ホーム ページ)
- 通常のセクション、列を含むセクション、または全幅セクション。全幅セクションでは、タイルが画面全体に広がります。
- 1 つの Web パーツのみを配置するアプリ ページ。タイルがページの唯一のコンテンツになります。

Web パーツはサイトのテーマ (ダーク テーマやセクションのカラー バリエーションを含む) に従い、そのインターフェイスは 40 を超える言語で利用でき、ユーザーの言語に応じて自動的に選択されます。

メモ

Smart Tiles はモダン ページのみに対応しています。クラシック ページには追加できません。

タイルで設定できる内容

各タイルは、それぞれ独自の外観を持つリンクです。タイルのプロパティは 4 つのグループに分かれています。

テキスト。 タイルにはタイトルと、省略可能な説明があります。説明はタイトルの下に小さい文字で表示され、タイルのツールヒントにも表示されます。コンパクトな外観にしたい場合は、パネル全体で説明を非表示にできます。

リンク。 タイルでは、ページ、ドキュメント、または任意の Web アドレスを、同じウィンドウまたは新しいタブで開けます。通常のリンクのほか、タイルから電子メールの作成 (`mailto:`)、電話の発信 (`tel:`)、テキスト メッセージの送信 (`sms:`)、**Microsoft Teams** のチャットやチャネルの表示 (`msteams:`) を開始することもできます。YouTube 動画へのリンクは自動的に認識されます。タイルには動画のサムネイルを背景として表示でき、アイコンの代わりに再生ボタンが表示されます。

外観。 各タイルには背景色とフォントの色があり、**サイト** テーマの 6 つのアクセント カラー、定義済みカラーのパレット、黒、白から選択します。色の代わりに、背景画像をタイルに設定することもできます。URL で指定するか、サイトのドキュメント ライブラリから選択します。アイコンは 5 つのアイコン セット（標準アイコン (Fluent UI)、ファイルの種類アイコン、アプリのアイコン (Microsoft 365)、Azure、Vitextra） のいずれかから選択するか、会社のロゴなどのカスタム画像に置き換えます。タイルのサイズは、極小から全幅 までの 6 種類です。

対象ユーザー。 タイルは、サイトの特定の SharePoint グループまたは Microsoft Entra IDグループのメンバーにのみ表示できます。対象ユーザーを指定しないタイルは、全員に表示されます。

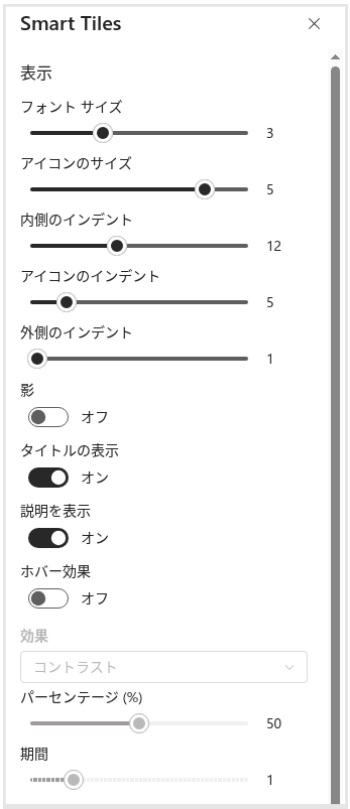


編集モードでのタイルのコンテキスト メニュー

パネル全体の外観を決める設定

Web パーツのプロパティ ウィンドウには、すべてのタイルに一括で適用される設定があります。

- **フォント サイズ**と **アイコンのサイズ**: それぞれ 7 段階と 6 段階
- **内側のインデント**（内側の余白）、**アイコンのインデント**（アイコンの余白）、**外側のインデント**（外側の余白）： タイルの内側、アイコンの下、タイル間の余白
- **影**: アイコンの下に表示されるやわらかいドロップ シャドウ
- **タイトルの表示**と **説明を表示**: タイルに表示されるテキスト
- **ホバー効果**: 明るさ、ぼかし、グレースケールなど 9 種類の視覚効果から 1 つを選択します。ポインターがタイルの上にあるとき、またはタイルにキーボード フォーカスがあるときに適用され、強さと継続時間を調整できます。



Web パーツの外観の設定

ページ上での編集

すべての編集は、ページの編集モードで、タイル上で直接行います。

- **タイルの追加:** パネルの末尾に新しいタイルを追加します。
- タイルのコンテキスト　メニューでは、プロパティの表示、サイズ、色、アイコンの変更、タイルの削除ができます。
- タイルの順序は、ドラッグして変更します。
- **エクスポート**はタイルを **JSON** ファイルに保存し、**インポート**は別のページやサイトにタイルを読み込みます。既存のタイルを置き換えるか、追加するかを選択できます。

Web　パーツは、タイルをページ自体のプロパティに保存します。サイトにリストは作成されず、テナントの外に出るデータもありません。タイルはページと一緒に発行され、ページのバージョンと承認フローに従います。

ヒント

一度作成したナビゲーション　　パネルは、すべての部門サイトで再利用できます。タイルをエクスポートし、別のサイトで Smart Tiles Web パーツを開いて、ファイルをインポートします。

訪問者

訪問者には、軽量なパネルが表示されます。編集ツールは編集モードでのみ読み込まれるため、発行されたページでは、タイルの表示に必要なものだけがダウンロードされます。タイルはスクリーン　　リーダーでリンクとして読み上げられ、キーボードで移動して操作でき、ホバー効果はオペレーティング　システムの「視覚効果を減らす」設定に従います。新しいタブで開くリンクは、開く元のページから分離されます。

警告

対象ユーザーの指定は、選択したグループ以外のユーザーからタイルを非表示にするだけで、リンク先のコンテンツへのアクセスを制限するものではありません。そのコンテンツを保護するのは、リンク先のページ、ライブラリ、アプリケーションのアクセス許可だけです。

ライセンス

Smart Tiles は、試用期間付きでインストールされます。プロパティ ウィンドウの**詳細情報**（バージョン情報）グループには、ライセンスの状態、Web　　パーツのバージョン、サブスクリプションの開始日、割り当てられているテナントが表示されます。試用期間が終了すると、サブスクリプションがアクティブ化されるまで、タイルの代わりに通知が表示されます。

ヒント

テナントに Web パーツを展開するには、KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法を参照してください。ページでの最初の手順は、KB10042. Smart Tiles Web パーツの追加と構成方法で説明しています。

製品の詳細: *https://vitextra.com/ja/products/smart-tiles*

用語

JSON
JSON (JavaScript Object Notation) は、人間が読み書きしやすく、ソフトウェアが解析および生成しやすい、軽量なテキストベースのデータ交換形式です。構造化データを交換するために、REST API、構成ファイル、Web アプリケーションで広く使用されています。

Microsoft 365
Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

Microsoft Teams
Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

SharePoint
SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

SharePoint Online
SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。

サイト
SharePoint サイトは、SharePoint プラットフォーム内の情報のコンテナーです。サイトには通常、ドキュメント ライブラリ、リスト、予定表、ディスカッション ボード、ワークフローなどの機能があり、チーム内または部門間でのコラボレー

用語

ション、コミュニケーション、ドキュメント管理を促進します。サイトは、組織の特定のニーズやワークフローに合わせてカスタマイズおよび構成できます。

サイト ページ

サイト ページは、セクション、列、Web パーツで構成されるモダン SharePoint ページで、サイトの [サイト ページ] ライブラリに格納されます。サイト ページは、情報、ニュース、その他のコンテンツを共有するために使用されます。

ニュース投稿

ニュース投稿は、組織内の他のユーザーとお知らせ、状況の更新、ストーリーを共有するために使用される、[ニュース投稿] タイプのサイト ページです。ニュース投稿は、ニュース Web パーツと SharePoint スタート ページに表示されます。